

龍西だより



令和5年度 学校だより
第23号
令和5年12月1日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

「人権の花運動 終了式」(11/21)

前回の学校だよりにも書きましたが、今年、本校は人権の花運動の指定を受けました。6月に清水小学校から花の種をいただき、これまで半年間育ててきました。子どもたちや先生方のおかげで、右の写真のようにきれいに袋詰めされた花の種4袋を人権擁護委員の先生方へ渡すことができました。来年度は川上小学校で、龍田西小学校の種を育ててもらいます。終了式には北区の中川区長も来校され、代表の子どもが感謝状を受け取りました。



人権擁護委員の先生から、世界では戦争で苦しんでいる多くの子どもたちがいる話もありました。命の大切さ、平和の大切さ、思いやりの大切さを改めて考える式になりました。

【メッセージ付きの種 4袋】→
←【中川区長より感謝状贈呈】



1年生の研究授業「国語」(11/27)

子どもたちに分かりやすく楽しい授業をすることは、我々教師の最も大切な仕事です。授業がうまくなるためには、お互いに授業を見合ったり、本などで学んだりしながら技術を高めていくことしかありません。

先日、1年1組の国語の研究授業がありました。多くの先生方が見守る中、子どもたちは生き生きと授業に参加していました。

昔は「教師主導型」といって、先生が一方向的に説明して知識を与えていく授業が主流でした。今は、子どもたちの「主体的な学び」に重きを置いて授業を構成します。自分たちで課題を見つけ、その解決方法を考えたり、子どもたちどうして意見を出し合って考えを深めたりする『子どもが「学びとる」授業』を目指します。

時代の変化が激しい今、将来の見通しが立ちにくくなっています。子どもたちが大人になった時、どんな世の中になっても自分たちで解決していけるような力を身につけさせなければなりません。そのためには、まずは知識や技能の習得が必要ですが、身につけた知識や技能をどのように使うのか、周りの人たちとどのように「協働」していくのかも重要です。小学校では、どのような授業をすることが子どもたちの「生きる力」につながるのか、先生方は勉強を続けています。



4年生の総合的な学習「認知症キッズサポーター養成講座」(11/30)

4年生の総合的な学習のテーマは、「やさしい町づくりについて」です。具体的には、学校内のUDを見つける活動や疑似体験を通して福祉について考える活動を行っています。先日は、車いす体験や高齢者体験を行いました。



昨日は、リデルホーム介護支援事業所の方をはじめ、各自治会長や民生児童委員の方々など20名近くの地域の方々に来ていただき、「認知症って何？」をテーマに授業をしていただきました。

アフターコロナで学校は元の教育活動に戻りつつあります。今回のように地域の方々のご協力で、子どもたちに貴重な学びの場と時間を提供していただけることに感謝しかありません。今後子どもたちに必要なことは、学びを生かすことです。